

開成町第2期障がい者計画・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画（案）に対するご意見と回答

No	ご意見	回答
1	<p>発達障がいの特性を理解している支援者が少ないと感じる。研修などを積極的に受けて、特性にあった支援をしてほしいと思います。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。 障がいをお持ちの方やお子さんの支援には、その障がいに対する深い専門知識や理解が重要であると考えます。 町内事業所や関係課の町職員が県や県西障害福祉圏域地域生活ナビゲーションセンターが実施している研修等に積極的に参加するよう努めます。</p>
2	<p>保健センター、福祉課、教育委員会の引き継ぎをスムーズにしてほしいと思います。保護者が子どもについて何度も同じことをそれぞれの課や園、学校などに伝えるのは大変です。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。 本計画では、ご意見のあった内容を「ライフステージに沿った一貫した施策の展開」として課題にとりあげており（20ページ参照）、重点施策として、「まい♡らいふブック」の活用・普及などに取組んでいく予定です（25ページ「重点施策4」参照）。 また、今後のご意見を参考に関係各所との連携強化を図り、施策に反映できるよう検討を行います。</p>
3	<p>児童発達支援センターが県西で1ヶ所では、圧倒的に足りません。せめて上郡に1ヶ所は必要だと思います。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。 ご意見を参考に今後の児童発達支援センターの整備等について、足柄上地域1市5町での検討をすすめていきます。</p>
4	<p>相談支援事業所もたりていません。「サービス等利用計画」を作成するにあたり、セルフプランで行うことは本人、保護者にとってとても不安なことであります。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。 足柄上地域において、相談支援事業所が不足している現状は、地域自立支援協議会でも課題として取り上げられ、相談支援部会（事務局は大井町）でも取組みを行っています。 今後も、広域的に検討や取組みを行います。</p>

No	ご意見	回答
5	<p>児童発達支援センターや相談支援事業所、児童発達支援、放課後等デイサービスも足りず、学校や園の先生も役場の職員の方も忙しそうにしているので、身近に自分の子どものことについて相談できる場がありません。特にボーダーラインと言われるお子さんを持つ親御さんは、どこの福祉にも頼ることができず、自助努力でなんとか子どもの生活を支えている状況です。IQや障害の程度に関わらず福祉に頼れるような仕組みをお願いしたいです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見を参考に、施策に反映できるよう検討を行います。</p>
6	<p>ピアカウンセリングの機会、ペアレントメンターの制度を促進してもらいたいです。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。 開成町や足柄上地域でのペアレントメンターの養成や養成後の活動の場などについて、今後、広域的に検討を行っていきます。</p>